

■ 支部 だ よ り ■

北海道・東北支部のうごき

平成13年度全国環境研協議会北海道・東北支部総会が5月24日(木)、25日(金)の両日、宮城県仙台市において開催された。

第1日目は「ハーネル仙台」を会場にして、111機関20名が出席し、議題等について協議が行われた。

会議では始めに本年度から支部長を務めることとなった秋田県環境センターの真壁所長があいさつし、続いて開催地の宮城県環境生活部の石垣次長が歓迎のあいさつを行った。その後、開催地の宮城県保健環境センターの森所長が議長に選出され、以下のとおり議事が進められた。

1. 事業報告

① 平成12年度事業報告および収支決算について事務局（支部長県：秋田県）から報告があり、いずれも議案どおり承認された。

また、酸性雨調査研究専門部会長の岩手県環境保健研究センターから平成12年度酸性雨調査研究専門部会事業について報告が行われた。

② 平成13年度事業計画案および収支予算案について事務局から説明があり、議案どおり承認された。

③ 平成13年度は支部役員の改選時期に当たっているため、事務局から支部長、副支部長等の役員名簿の提案があり、提案どおり承認された。

2. 報告事項

事務局から平成13年4月26日に新潟県佐渡汽船ターミナルビルで開催された第1回理事会の概要について、報告が行われた。

3. 情報交換

情報交換では、あらかじめ支部管内の各機関から提出された多くの提案・情報交換事項について、熱心な討議が行われた。

(1) 提案事項

① 全国環境研協議会の各支部長の持ち回りについて（岩手県）

② ダイオキシン分析調査担当者会議について（岩手県）

(2) 情報交換事項

① PM2.5のモニタリング体制の整備と調査研究状況について（宮城県）

② 環境騒音の測定・評価方法の検討状況について（宮城県）

③ ダイオキシン類の分析体制の整備状況、分析技術者の育成および精度管理について（宮城県、秋田県、山形県）

④ ケミカルハザード施設等から発生する廃棄物の処理方法について（札幌市、福島県）

⑤ 特殊化学物質取扱安全管理規定および指針について（秋田県）

⑥ 健全な水循環確保に向けて（宮城県）

⑦ 休日等における大気汚染物質濃度の確認方法および監視体制等について（山形県）

⑧ 水質汚濁事故等における分析マニュアルについて（山形県）

⑨ 行政検査における委託と直営の分析体制の考え方について（福島県）

⑩ 検査手数料について（仙台市）

4. その他

総会に引き続き、支部機関で長年調査研究等の業務に精励し、業務の充実強化等に功績のあった次の6氏が支部長表彰を受賞された。

北海道環境科学研究センター	梅木 賢俊氏
青森県環境保健センター	工藤 精一氏
岩手県環境保健研究センター	菅野 淳氏
宮城県保健環境センター	新垣 康秀氏
山形県環境保全センター	大岩 敏男氏
新潟県保健環境科学研究所	田村 良三氏

第2日目は宮城県産業技術総合センターと広瀬川の清流を視察後、青葉城跡本丸会館2階で昼食をとり、2日間にわたる支部総会の日程を終了した。

最後に、会を開催していただきました森所長を始め宮城県保健環境センターの職員の皆様方に対し厚くお礼を申し上げます。

（記：秋田県環境センター）

関東・甲信・静支部のうごき

平成13年度は7月末現在で次の部会を開催した。

1. 大気専門部会

6月28日(木)～29日(金)長野県長野市(ホテル信濃路)において、16機関(長野市・オブザーバー)27名の出席者により、下記13題の研究発表を行った。

三宅島噴火による千葉県のSO₂濃度上昇事例
(千葉県環境研究センター)

三宅島火山ガスによる酸性雨への影響
(横浜市環境科学研究所)

山岳部の霧水に及ぼす三宅島火山の影響
(群馬県衛生環境研究所)

ディーゼル排出ガス中のNO_xおよびPMの同時低減技術の開発
(東京都環境科学研究所)

光触媒を用いた大気浄化技術試験施行における窒素酸化物の除去性能
(千葉県環境研究センター)
土壌浄化モデル施設の粉じん除去効果について
(川崎市公害研究所)

長野市における紫外線(UV-A, UV-B)の測定
(長野県衛生公害研究所)

栃木県における有害大気汚染物質モニタリング調査結果について
(栃木県保健環境センター)

平成11年度神奈川県における有害大気汚染物質調査の結果について
(神奈川県環境科学センター)

静岡市内における有害大気汚染物質の年間変動について
(静岡市衛生試験所)

有害大気汚染物質濃度と一般環境大気濃度との相関
(浜松市保健環境研究所)

山梨県上空におけるベンゼン等の濃度
(山梨県衛生公害研究所)

廃棄物焼却炉から排出されるクロロベンゼン類濃度の特性
(埼玉県環境科学国際センター)

なお、平成14年度は横浜市で開催する予定である。

2. 騒音振動専門部会

7月12日(木)～13日(金)東京都港区(アジュール竹芝)において、13機関22名および環境省から3名の出席者を得て、下記6題の研究発表および施設見学を行った。

(1) 研究発表
低周波音等による苦情解決の例について
(千葉県環境研究センター)

葉面積の簡易算出法
(横浜市環境科学研究所)
直営方式による面的評価の試み
(山梨県衛生公害研究所)

道路に面する地域の環境騒音測定方法の検討
(神奈川県環境科学センター)

自動車騒音調査の検討
(長野県衛生公害研究所)
自動車騒音常時監視についてのアンケート結果
(東京都環境科学研究所)

(2) 施設見学
中央防波堤外側埋立処分場・新海面処分場およびベイエリア

なお、平成14年度は千葉市で開催する予定である。また、8月以降は水質専門部会を8月30日(木)～31日(金)千葉市(千葉市環境保健研究所)、支部総会を9月13日(木)～14日(金)群馬県前橋市(群馬厚生年金会館)で開催する予定である。